

平成 29 年度 長野県総合教育センター評議員会

1 期日・会場 平成 29 年 10 月 19 日(木) 生涯学習推進センター研修室ほか

2 日 程

- (1) 受 付
- (2) 研修講座・生徒実習の視察見学
- (3) 評議員会

開 会

- ① 所長挨拶
- ② 評議員自己紹介
- ③ 職員紹介
- ④ 座長選出
- ⑤ 説明・報告

ア 平成 29 年度長野県総合教育センター 組織・機構 事業の重点

イ 研修事業

- ・平成 28～29 年度 研修講座実施状況
- ・研修講座のふりかえり(受講者アンケート)集計結果
- ・今年度の注目講座
- ・指定研修の概要
- ・生徒実習事業及び先端技術研修の概要

ウ 学校支援事業

- ・校内研修支援及び学校訪問支援

エ 研究調査事業

- ・チーム課題研究、センター研究発表会

オ 教育情報事業

- ・ホームページのコンテンツ(学びの広場)
- ・長野県視聴覚ライブラリー

カ 教育相談事業

- ・教育相談の概要

⑥ 評 議

- ・長野県総合教育センターの事業について
- ・長野県総合教育センターに期待すること
- ・その他

閉 会

① 所長挨拶

② 諸連絡

3 出席評議員(敬称略)

今井 義明	長野県高等学校長会 副会長
片桐 義章	長野県特別支援学校長会 中信地区代表
三ツ井 千恵子	長野県国公立幼稚園長会 会長
草間 由紀子	長野県PTA連合会 副会長
原 礼子	ガールスカウト長野県連盟 前連盟長
矢口 修	信濃教育会教育研究所 部長
塚田 信之	長野県産業教育振興会 会長
高山 雪	松本大学教育学部教職支援センター 講師

平成 29 年度長野県総合教育センター評議員会 評議要旨
(平成 29 年 10 月 19 日実施)

次のような点について、ご質問やご意見をいただきました。
今後の事業運営および研修講座づくりに反映させて参ります。

- ・生徒実習の減少傾向についての原因は何か？
→ (交通費補助の廃止, 実習のテーマによっては学校への ICT 機器整備による必然性の減少の旨回答)
- ・教育センターで県職員の研修が行われていると思うがどういった理由か？
→ (自治研修所などの廃止による知事部局からの要請にこたえる形で受け入れている旨回答)
- ・研修におけるアウトプットに力を入れている旨の説明があった。アウトプットは自己肯定感や自己有用感を高めるよい機会である。優秀な子ばかりではないので、参加型にしてすべての子に光をあてる授業を目指していただけたらありがたい。また、減点指導ではなく自己有用感につながる加点指導にしていきたい。長野県は若年の自殺率がトップという事態もあるので本質的な意味で危機感を持っている。
- ・私は、義務教育出身であるので教育センターで研修するというのは当たり前だと考えていたが、幼稚園教諭出身の園長先生は、センター研修の冊子は配られるものの幼稚園教諭向けの講座が行われている事をほとんど知らない。特に公立の幼稚園には発達障がいなどの子どもも受け入れることから、このセンターで研修を受けられることはありがたいので、園内で工夫して参加させていただきたい。
- ・今日の日本は、少子高齢化、地方人口減少、グローバル化、高度情報化の進展で今までの常識では測れなくなってきている。教育センターに来るたびに、事業内容が進化していることを感じる。旅先の二十四の瞳で有名な小豆島で見た寄せ書きに「教師の喜びは 1 年, 2 年先ではなく, 10 年, 20 年後に訪れます。子どもは未来の宝です」というものがあった。人が人を育てる仕事を改めて感激した。教育センターの先生方になお一層ご苦労いただいて国を支えていただくようお願いしたい。
- ・アンケートの研修内容の報告は、教科会など小規模なものが多く全体が少ない。感じたところを話せばよいのかという風潮を見直す必要があるのではないかと。先輩の意見をお聞きしながら、自分に返る部分も大事ではないか。
- ・指定研修の選択研修の幅を広くしていただいたため、信濃教育会の教育研修所へ来ていただいてありがたい。長野県の学校で子どもたちに合わせて資料を使ってきたが、道徳の教科化に伴い教科書を頭からこなさなければならないと考える先生が増えるだろう。カリキュラム・マネジメントの考えを取り入れ、道徳の講座を充実させていただきたい。
- ・生徒実習事業で、センターにしかない設備があり、せっかくセンターで学べるのに補助がないために利用者数が減っているのはもったいないと感じる。組織自前の研修だけでは、多様化する子どもたちに対応するのは難しいという話をしている。自分から選択して学びに行くという機会が、とてもありがたいと考えている。教育センターは通いだすと、身近な場所になる。よい研修がたくさんあるので、私たちが宣伝できればよいのではないかと。
- ・他県は生徒実習のような教育センターでの実習を行っているのか？
→ (他県ではほとんどない。産業機器を取り扱った実習など、キャリア教育の視点からも有効である旨回答。)
- ・職員会をねん出するのが難しく研修内容を全体に知らせるのが難しくなっている。各学校の工夫をセンターとして把握してほしい。個人としてどう伝えるかでは限界があるので、いい案を共有したり、PC もあるので情報のあり方も検討したり、させていただきたい。
- ・教員免許更新の講座を設けていただいていたありがたい。
- ・音楽、美術、技術、家庭の主事は、教育事務所の指導主事が減らされているためセンターの専門主事に委ねられることが多い。専門主事の数を増やしていただけるとありがたい。